

## 〔研究ノート〕 中国における日本思想史研究と私

林羅山を例にして

龔 穎（倫理研究所客員研究員）

### はじめに

はじめに、私が日本思想史研究を始めた理由を一言だけ紹介させていただきます。私は偶然日本語を習い始めたのですが、テキストとして使われていた川端康成著『伊豆の踊子』という小説に感動して、日本の文化や思想をもっと勉強しようと考え、北京日本学研究中心に設けられた大学院のマスターコースに進学しました。そこで、恩師である玉懸博之先生に出会い、それ以来、玉懸先生のご指導の下で近世初期の日本思想史を勉強してきました。以来、既に二十年余りの年月が経ちました。この二十余年の間に、中国における日本思想史の研究状況は大きく変貌してきました。

本稿では、更に遡って、新中国成立以来の、中国における日本思想史研究の状況を概略的に省みてみようと思います。